

る計画である。

### ＜平成17年度台風被害改修の進捗状況について＞

生田地区の地滑り・土砂災害について。

町長 農地の災害復旧工事はすでに発注済である。上部の山林側は、災害関連緊急砂防事業で、ダム工事、下流河川工事を実施する。国の予算は平成17年度に確定している。繰越事業として実施する。先般地元関係者に概要を説明し、現在砂防指定の手続き中である。砂防指定完了後、工事に着手し、完成は2年後の予定である。被災された住民の方々に対し、現時点で物的支援等はしていないが、折に触れて復旧に向けた取り組み状況を説明し激励している。

### 広見集会所下河川への対応について。

町長 土石流危険渓流となつていいるが、下流の人家戸数等の条件不足により、鬼北町の管内に24箇所ある「土砂災害対策重点整備箇所」に指定されていないため、現段階では、上流への砂防ダム整備計画はない。

### ＜三位一体の改革について＞

本改革が、本町財政にどの程度打撃を与えるものか。

町長 この改革は、自主財源が乏しく財政基盤の脆弱な本町にとつては、非常に厳しい財政運営を強いられているところである。数字的に説明すると、平成16年度減収

総額は一億七千二百八万二千元、平成17年度減収総額は、六千四百九十九万七千円であり、平成18年度減収総額は一千九百九十二万四千円と予測している。これにより3年間の減収総額は二億四千五百五十万二千元となる見込である。

この補助金等の減額に対しては、普通交付税で財源措置されることになっていくが、この普通交付税は、平成16年度が三十億八百四十二万三千円、平成17年度は、三十一億二千九百四十七万七千円の見込で、平成18年度は三十億円しか見込むことができず、三位一体改革の前年度の15年度と比較しても伸びはほとんどなく、交付税措置されている状況であるとはいえない。

平成17年度特別交付税が、六千万円増額となる予定であるが、これは合併による特別支援分であり、三位一体改革とは別の措置である。税源移譲についても、地方譲与税が3年間で八千八百万円程伸びているが、削減された補助金には到底及ぶものではなく、また、平成16年度に配当交付金と株式譲渡等所得割交付金が創設されているが、年額三百万円程度で、大幅減収に対応できるものではない。以上の状況から、この三位一体改革は、当町にとって大きな財政上の打撃となっている。

## ☆ 18年度の新区長さんをご紹介します ☆

近永地区		好藤地区		愛治地区		泉地区	
牛野川	宇都宮隆嗣	成藤	清家真	大宿	清水明	出目一	井関勝安
水分	奥山聖治	国遠	稲葉隆	生田	清家武俊	出目二	井上庸介
北川	武田直也	年則	竹村通雄	清水	鈴木理八	興野々	塩崎治久
成川	兵頭正男	清延	井上博	畔屋	畠山利紀	岩谷	藤原憲二
今在家	武田國次	柏田	中岡章	西野々	高田正博	上川	堀昌彦
奈良中	宇都宮隆洋	沢松	松崎展也	三島地区		小西野々	青木強志
奈良下	高田敏男	平井中	平野隆智	広見	杉本耕一	小倉	芝貞弘
中野川	河添友範	田丸	山下明博	下大野	渡邊勝	日吉地区	
芝	尾上守	沖	赤松均	小松	松本俊一	父野川	伊野光広
永野市	芝正通	小坂	出渕公造	久保	田中通正	上大野	船本常雄
新町	水野洋行	東仲	東辰男	延川	林武伸	下鍵山	竹本芳泰
本町	清家祥一	西仲	善家義文	川上	宮内公廣	上鍵山	熊本忠真
南町	宇都宮祝和	吉波	上甲多吉			日向谷	山本健介
栄町	畔地福美						
旭町	岡部三男						